

3面

西日本支部
発足総会開く

JER補改修協会
管路部会



廣江周一支部長

JERコンクリート補改修協会管路部会(井上敬介部会長)は2日、兵庫県内のホテルで管路部会西日本支部(59社、事業所)発足総会を開いた。2021年度事業計画・収支予算案などを審議し、原案通り承認した。役員選出が行われ、西日本支部長に廣江周一(営繕常務取締役)、副支部長に阪幸兒(末廣興業

代表取締役会長)、幹事に都甲竜也(藤本商事取締役)各氏がそれぞれ就任した。

総会で井上部会長は「当初は今年の10月に発足総会を予定していたが新型コロナウイルスの影響もあり本日開催の運びとなった。管路部会としては主にマンホール更生市場で活動を行っているが先月、国土交通省から発表された公共工事発注状況を見ると西日本のマンホール更生工事の発注状況は前年度より増加傾向となっている。今後も西日本の各ブロックで安定した発注が得られるよう啓発活動に注力していきたい。西日本支部の発足にあたり支部会員の相互協力が支部全体の活性化につながることを期待する」とあいさつ。続いて廣江支部長が「新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかで現状を静観しているだけでなく感染収束後には活発な部会活動が直ちに

行えるよう準備を進める必要性を感じている。本支部のさらなる発展と活性化のため浅学非才ではあるが誠心誠意努力して参りたい」と述べた

21年度事業計画では技術力の水準の向上や管路部会工法の普及拡大、西日本支部のさらなる拡充などを図っていく方針を確認した。

総会後の研修会では「下水道管路に関する最近の動向」と題し日本シッコウ顧問の宮入篤氏による講演等が行われた。